

V 生涯学習学研究科

<修士課程>

1 2025年度教育課程表

2 教育課程編成について

3 学位授与へのプロセス

4 免許・資格取得について

1. 2025年度教育課程表

生涯学習学専攻 修士課程 専門科目

○単位は必修

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
生涯学習学理論領域							
生 涯 学 習 学 特 論	講義	②				横 山 光	
						小 室 晴 陽	
生 涯 学 習 行 政 特 論	講義	2				岡 健 吾	
生 涯 学 習 計 画 特 論	講義		2			阿 部 豊	集中講義
生 涯 学 習 メ デ ィ ア 特 論	講義	2				松 澤 衛	
生 涯 学 習 環 境 特 論	講義	2				千 里 政 文	
						浅 井 貴 也	
美 学 芸 術 学 特 論	講義	2				林 亨	集中講義
						小 室 晴 陽	
デ ザ イ ン 学 特 論	講義		2			大 西 洋	
						酒 井 秀 治	
教 育 学 特 論	講義	2				山 谷 敬三郎	
教 育 指 導 特 論	講義		2			亀 山 比 佐	集中講義
道 徳 教 育 研 究 特 論	講義	2				杉 浦 勉	集中講義
教 育 制 度 特 論	講義		2			神 守 一 志	集中講義
教 育 経 営 特 論	講義		2			山 田 潮	
教 育 方 法 特 論	講義	2				山 田 潮	
教 職 研 究 特 論	講義		2			神 守 一 志	集中講義
教 育 課 程 研 究 特 論	講義	2				神 守 一 志	集中講義
保 育 原 理 特 論	講義	2				伏 見 千悦子	
教 育 心 理 学 特 論	講義		2			三 浦 公 裕	集中講義
学 校 心 理 学 特 論	講義	2				三 浦 公 裕	
生 涯 発 達 心 理 学 特 論	講義	2				松 田 久 美	
臨 床 心 理 学 特 論	講義		2			飯 田 昭 人	
特 別 支 援 教 育 特 論	講義	2				上 林 宏 文	
障 害 者 心 理 学 特 論	講義		2			磯 貝 隆 之	
障 害 者 心 理 学 特 別 演 習	演習		2			石 塚 誠 之	
病 弱 教 育 研 究	講義	2				小 原 直 哉	
						磯 貝 隆 之	
生 涯 学 習 行 政 論 特 別 演 習	演習		2			磯 島 年 成	
心 理 検 査 特 別 演 習 I	演習	2				石 塚 誠 之	集中講義
心 理 検 査 特 別 演 習 II	演習	2				石 井 早由里	集中講義
学 校 心 理 学 特 別 演 習	演習		2			山 谷 敬三郎	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
生涯学習活動論領域							
生涯 学 習 活 動 特 論	講義	②				三 浦 公 裕	集中講義
						浅 井 貴 也	
						朝 地 信 介	
						石 塚 誠 之	
						小 原 直 哉	
						神 守 一 志	
						上 林 宏 文	
						千 里 政 文	
						伏 見 千悦子	
						松 澤 衛	
						村 松 幹 男	
						山 田 潮	
						山 谷 敬三郎	
横 山 光							
研 究 方 法 論	講義	2				小 室 晴 陽	
統 計 分 析 演 習	演習		2			小 室 晴 陽	
生涯 学 習 施 設 運 営 特 論	講義	2				村 松 幹 男	
生涯 芸 術 特 論	講義	2				浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						千 里 政 文	
						松 澤 衛	
						村 松 幹 男	
生涯 美 術 指 導 特 論	講義	2				湯 浅 大 吾	
芸 術 鑑 賞 特 論	講義		2			浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						千 里 政 文	
						松 澤 衛	
						村 松 幹 男	
生涯 音 楽 指 導 特 論	講義			2		坂 田 朋 優	隔年開講・集中講義
						岡 元 敦 司	
						千 葉 圭 説	
生涯 学 習 活 動 特 別 演 習（芸 術Ⅰ）	演習	2				浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						千 里 政 文	
						松 澤 衛	
						村 松 幹 男	
						山 下 圭 介	
生涯 学 習 活 動 特 別 演 習（芸 術Ⅱ）	演習		2			浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						千 里 政 文	
						松 澤 衛	
						村 松 幹 男	
						山 下 圭 介	
生涯 学 習 活 動 特 別 演 習（自 然 科 学）	演習		2			横 山 光	集中講義
継 続 学 習 活 動 特 別 演 習	演習		2			岡 健 吾	

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
生涯音楽指導特別演習（演奏指導）	演習				2	坂 田 朋 優	隔年開講・集中講義
						岡 元 敦 司	
						千 葉 圭 説	
特別支援教育コーディネーター特論	講義	2				川 合 理 恵	集中講義
特別支援教育コーディネーター実践論	講義	2				石 塚 誠 之	
知的 障 害 者 指 導 特 論	講義	2				小 原 直 哉	
知的 障 害 者 指 導 特 別 演 習	講義		2			石 塚 誠 之	
肢 体 不 自 由 者 指 導 特 論	講義	2				上 林 宏 文	
肢 体 不 自 由 者 指 導 特 別 演 習	講義		2			上 林 宏 文	
重 複 障 害 者 指 導 特 論	講義		2			小 原 直 哉	
発 達 障 害 者 指 導 特 論	講義		2			石 塚 誠 之	
学校教育フィールドワーク（幼・小）	実習	← 1 →				三 浦 公 裕	集中講義
						山 田 潮	
						横 山 光	
学校教育フィールドワーク（中・高）	実習	← 1 →				三 浦 公 裕	集中講義
						山 田 潮	
						横 山 光	
研究指導							
生涯学 習 特 別 研 究 I	演習	②				浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						石 塚 誠 之	
						小 原 直 哉	
						神 守 一 志	
						上 林 宏 文	
						千 里 政 文	
						伏 見 千悦子	
						松 澤 衛	
						三 浦 公 裕	
						村 松 幹 男	
						山 田 潮	
						山 谷 敬三郎	
横 山 光							
生涯学 習 特 別 研 究 II	演習	②				浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						石 塚 誠 之	
						小 原 直 哉	
						神 守 一 志	
						上 林 宏 文	
						千 里 政 文	
						伏 見 千悦子	
						松 澤 衛	
						三 浦 公 裕	
						村 松 幹 男	
						山 田 潮	
						山 谷 敬三郎	
横 山 光							

科 目 名	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
生涯学 習 特 別 研 究 Ⅲ	演習			②		浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						石 塚 誠 之	
						小 原 直 哉	
						神 守 一 志	
						上 林 宏 文	
						千 里 政 文	
						伏 見 千悦子	
						松 澤 衛	
						三 浦 公 裕	
						村 松 幹 男	
						山 田 潮	
						山 谷 敬三郎	
						横 山 光	
生涯学 習 特 別 研 究 Ⅳ	演習			②		浅 井 貴 也	集中講義
						朝 地 信 介	
						石 塚 誠 之	
						小 原 直 哉	
						神 守 一 志	
						上 林 宏 文	
						千 里 政 文	
						伏 見 千悦子	
						松 澤 衛	
						三 浦 公 裕	
						村 松 幹 男	
						山 田 潮	
						山 谷 敬三郎	
						横 山 光	

2. 教育課程編成について

本研究科の目的は、生涯学習の振興に資する専門職及び研究者の育成にある。その目的の達成のために、生涯学習学理論領域と生涯学習活動論領域の二つの領域で教育課程を編成する。その際、講義科目に関する演習を配置し、それぞれの学生の研究課題の解決に役立つよう配置する。また、生涯学習学理論領域においては、教育学関連科目を配置することで生涯学習に関するより基本的、専門的な教育・研究が可能となるよう教育課程を編成する。

1) 教育課程の基本構成

今日、生涯学習の振興に関しては、生涯学習に関する理論と実際の活動を統合的に捉え、それらを実証的に研究することが求められている。生涯学習の振興に資する人材の養成を目的とする本研究科では「生涯学習学理論領域」と「生涯学習活動論領域」の二つの領域で編成する。それぞれの領域では講義科目である特論と、その内容を発展させ、研究能力・実践的能力の向上を図る演習科目を配置した。

①生涯学習学理論領域

生涯学習の振興に関する理論的な科目として「生涯学習学特論」などの生涯学習学理論に関する科目や「生涯学習行政特論」「生涯学習計画特論」などの生涯学習行政に関する科目、並びに「教育学特論」「教育指導特論」などの教育学関連科目と「特別支援教育特論」「障害者心理学特論」などの特別支援教育に関する科目を配置している。

②生涯学習活動論領域

生涯学習の振興に関する具体的な科目として「生涯学習活動特論」「継続学習活動特別演習」や「生涯学習活動特別演習」など継続学習に関する科目と「生涯芸術特論」「生涯美術指導特論」「生涯音楽指導特論」「芸術鑑賞特論」など美術・音楽学習に関する科目を配置している。

2) 研究科の修了要件

所定の修業年限以上在学し、必修6科目12単位を含め、専門科目合計32単位以上、かつ研究指導を受け、修士論文の審査及び試験に合格することをもって修了の要件とする。但し、特定の課題の成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。

3) 演習・修士論文

演習科目は、各院生の個別の研究課題に関連する科目を選択し履修するものとする。なお、研究課題に関連する演習が複数にわたる場合は複数の演習を履修することも可能とする。1年次より開始する「生涯学習特別研究Ⅰ」～「生涯学習特別研究Ⅳ」は、各自の修士論文作成に関連する内容において研究し、修士論文の作成に着手するものとする。

修士論文の題目は、指導教員と十分な協議の上、早期に決定する。修士論文の指導教員は、院生本人の研究に関する希望を勘案するとともに、専門演習を通して個別に相談に応じ、1年次前期に決定する。

4) 特定の課題についての研究

本研究科生涯学習活動領域の美術指導において、研究活動を行う者については、特定の課題の成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。その際、履修者にとっては、道内外の美術公募展の入賞レベルの作品を目標とする。

3. 学位授与へのプロセス

課程修了の要件

本学大学院の修士課程の所定の修業年限以上に在学し、所定の授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、当該研究科の行う修士論文の審査に合格することとする。ただし、研究科が専攻の目的に応じ適当と認めたときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって、修士論文の審査に代えることができる。

修士論文及び口頭試問に関する審査基準

本研究科において修士論文の審査を受ける者は、口頭試問までに題目発表会・中間発表会で発表を行った者とする。また、修士論文審査（含「口頭試問」）で合格を受けた者は、最終発表会での発表を行うこととする。

1. 修士論文の審査基準

- 1) 研究の背景や目的、方法と結果、解釈や考察等、論文の構成が適切であるか。
- 2) 題目の設定が適切で、生涯学習学に貢献し得る内容が含まれているか。
- 3) 論述や表現に一貫性があり、研究に用いたデータや素材等が適切であるか。
- 4) 先行研究及び関連研究に関する検討が適切であるか。

2. 口頭試問の審査基準

- 1) 研究内容について十分に理解し、説明が明解であるか。
- 2) 研究内容に関して指摘された論点について適切に応答がなされたか。
- 3) 当該研究分野に関する専門的な知識は十分であるか。

3. 審査体制及び結果

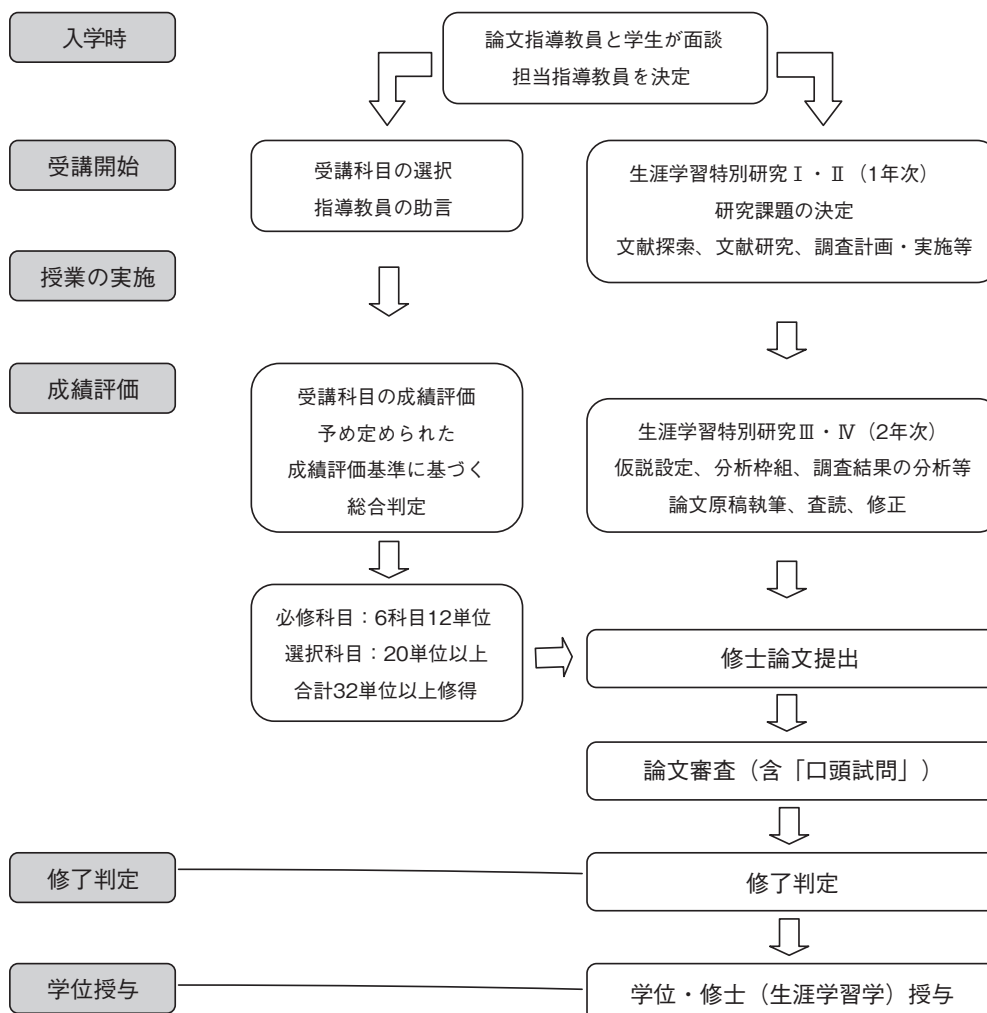
- 1) 審査体制は、主査1人・副査2人とし、3人で合又は否を審議する。
- 2) 審議結果を受け、研究科委員会で修士論文審査を行い、合格者を決定する。

課程修了の認定

課程修了の認定は、課程修了の要件を満たした学生について、当該研究科委員会の議を経て、学長がこれを認定する。課程修了の時期は、学年又は学期の終わりとする。

学位の授与

課程修了の認定を受け、本学大学院の修士課程を修了した者に対し、修士の学位を授与する。



4. 免許・資格取得について

生涯学習学研究科生涯学習学専攻では、下記に示す教育職員免許状取得のための課程を有している。

既に、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（音楽、美術）、高等学校教諭一種免許状（音楽、美術）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を有している者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に規定された科目を修得することにより、当該免許状の専修免許状を取得することができる。

研究科・専攻	免許状の種類	免許教科又は特別支援教育領域
生涯学習学研究科 生涯学習学専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	音楽、美術
	高等学校教諭専修免許状	音楽、美術
	特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者・肢体不自由者・病弱者

また、今日の学校における様々な教育的な課題に対応することが専修免許状取得の専門性をさらに深める観点から、学会連合資格「学校心理士」の受験資格も取得可能である。

なお、教育職員免許状取得に必要な科目と学校心理士受験資格取得に必要な科目の両方を兼ねる科目を12単位以上修得した場合、教育職員免許状の所定欄には、「学校心理学」という特定分野が付記される。

1) 専修免許状の取得

専修免許状の取得を希望する者は、本研究科において、基礎資格として修士の学位を取得し、北翔大学大学院教職課程履修規程別表第1の1から1の5の規定に従って24単位以上を修得する必要がある。

(IX 諸規程・資料3 北翔大学大学院教職課程履修規程参照)

2) 学校心理士受験資格

本研究科では、一般社団法人学校心理士認定運営機構が認定する「学校心理士」の受験資格を取得できる。

「学校心理士」は、各学校において、知的障害や学習障害、学業不振や学校不適応、不登校やいじめなど、学校を取り巻く病理現象の正しい理解とその対応に対して、専門的知見により対応することができる。今日、各学校においては、スクールカウンセラーの配置が計画化されているが、その業務についても十分対応できる資格である。また、現職の教職員においてもその資格取得は、今日の教育現場において必要とされうる資格であり、特に北海道においてはその養成が急務である。

取得にあっては、次表に示した9教科、18単位を履修すること。

本研究科を修了し、1年間の教職または臨床経験を経た後に、「学校心理士」認定運営機構が実施する資格審査試験に合格し、同機構に登録することにより、資格認定証が交付される。

機構が定める科目	本学開講科目	本学 単位数
学校心理学に関する科目	学校心理学特論	2
教授・学習心理学に関する科目	教育心理学特論	2
発達心理学に関する科目	生涯発達心理学特論	2
臨床心理学に関する科目	臨床心理学特論	2
心理教育的アセスメントに関する科目	心理検査特別演習Ⅰ	2
心理教育的アセスメント基礎実習に関する科目	心理検査特別演習Ⅱ	2
学校カウンセリング・コンサルテーションに関する科目	学校心理学特別演習	2
学校カウンセリング・コンサルテーション基礎演習に関する科目		
特別支援教育に関する科目	特別支援教育特論	2
生徒指導・教育相談、キャリア教育に関する科目	教育指導特論	2